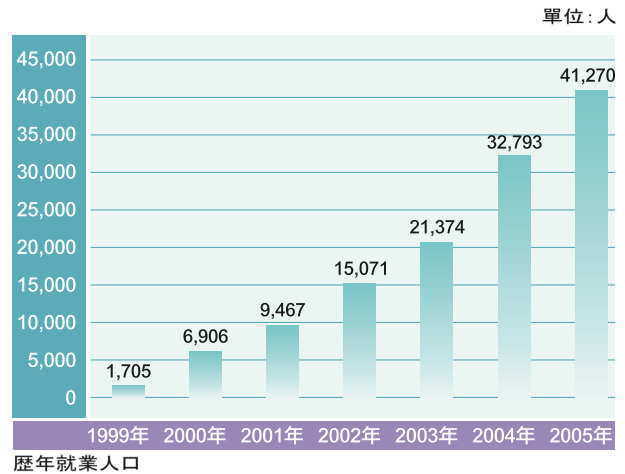
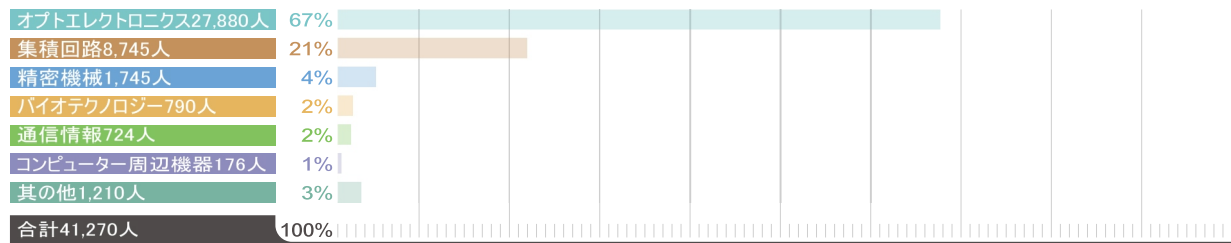


就業人口再び大幅成長

2005年末就業人数は2004年より8,477人増加して41,270人に達した。内訳はオプトエレクトロニクス産業が27,880人と最多で、続く集積回路産業が8,745人であった。大卒者の占める割合は35.4%である。台南県や高雄県に戸籍を置く従業員数は全体の56%を占めており、これは南科の地域密着性と就業機会創出による地域への貢献を表している。また、進駐メーカーによる基礎労働力の更なる大量需要が見込まれることから、2005年に外国労働者723人の園区内就労が認められることとなった。



2005年各産業就業人口



土地と標準工場の賃貸居住率の上昇

2005年末までに、台南園區第一期基地可租借工業区の土地貸出率は88%に達しており、貸出予定も含めると93%に達する。また、第二期基地貸出率は55%で、貸出予定を含めると77%に達する。高雄園區可租借工業区の土地の貸出率は60%で、貸出予定を含めると77%に達する。標準工場の可租借ユニット数は2005年末までで183ユニットあり、そのうち既貸出ユニット数は105ユニット、貸出率は約57%となっている。

2005年末土地租借状況	可租借工業区総面積 (ヘクタール)	貸出土地面積 (予定面積含む)(ヘクタール)	貸出率(%)
台南園區第一期基地	266	247	93
台南園區第二期基地	239	184	77
高雄園區	188	145	77

2005年末標準工場租借状況	可貸出ユニット数(個)	既貸出ユニット数(個)	貸出率(%)
台南園區第一期(1999年7月7日起用)	32	28	88
台南園區第二期(2002年1月24日起用)	26	16	62
台南園區第三期(2002年3月15日起用)	60	38	63
台南園區第四期(2004年5月3日起用)	25	6	24
高雄園區第一期(2004年7月14日起用)	40	17	43
合計	183	105	57